

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月13日

【評価実施概要】

事業所番号	0176400315		
法人名	株式会社 ヤハタ		
事業所名	高齢者グループホーム 福福亭		
所在地	北海道留萌市大町2丁目9-15 (電話) 0164-43-1408		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年6月5日	評価確定日	平成19年6月18日

【情報提供票より】(平成19年5月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 7月 5日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 10人, 非常勤 0人, 常勤換算	6.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	～ 全階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	200 円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(5月10日現在)

利用者人数	7名	男性	3名	女性	4名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 80歳	最低	70歳	最高	89歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	留萌セントラルクリニック・留萌市立病院・るもい南歯科クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

日本海に面して風光明媚な観光地の岬や利用者が散策する遊歩道が整備され環境と立地条件に恵まれた中にあるグループホームである。建物周辺は整備がされ、日常的に日光浴が出来る庭や利用者や職員と一緒に楽しむ花壇やトマト、ナスなどの収穫や草取りができる畑も作られている。ホーム内は、ゆったり広く身体状況に合わせて昇降機が設置されたり、利用者のその日の状態や好みによってお湯の温度が選べるように浴槽も二つ用意されている。また、利用者の心身のリフレッシュやストレス解消の為に外出の機会を多く作り、散歩やドライブ、花見などに出かけたり近隣住民も参加する敷地内の焼肉パーティも実施され認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での緊急時の通報体制の整備については、消防との連携がなされ火災時を想定した避難のシミュレーションや経路の確認など月一度繰り返し職員のミーティングで話し合われている。今後は、利用者も参加した実技を伴う避難訓練の実施を期待いたします。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価に取り組む中で、ホーム長及び管理者、職員は評価の意義を確認し合い理解が深められています。また、評価の細目についても職員間の新たな「気づき」として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議については、実施計画を作成して利用者、家族、行政・町内などの代表が参加する運営推進委員会で具体的に段階毎に取組まれフォローアップされケアサービスの向上に活かされる取り組みが行われています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 定期的な「瓦版福福亭」の発行で、利用者の日常の暮らしぶりの様子やホーム行事での笑顔、職員の紹介など日頃より家族との関係を大事にして、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、今後は家族も参加した運営推進会議も活発に開催されていくので、さらに意見の反映と改善に取り組まれるとされます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 利用者と職員が地域の防災訓練への参加やお祭りや子供神輿など町内会行事への積極的な参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩やスーパーや魚屋さんでの買い物などを通じて地域での認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以前からある運営理念をもとに、地域の中で支えていく取り組みを月一度開催される会議で話し合われたり、日常の業務の中で職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム長、管理者、職員は理念の共有は勿論のこと、理念を達成するためにそれぞれの具体的な目標を掲げその達成度について話し合われ改善を明確に捉えている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の防災訓練やレクリエーションに参加するなど地元の人々との交流する重要性について理解すると共に取り組んでいる。		今後は、保育園児や小・中学生との体験学習を通じての利用者との交流の取り組みなども計画されている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム長、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を良く理解しており、その詳細項目についても日々の業務の中で、活かす取り組みがされている。前回の評価結果についても利用者、家族に公表して理解を求められています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については、実施計画を作成して利用者、家族、行政・町内などの代表が参加する運営推進委員会で具体的に段階毎に取り組みられフォローアップされケアサービスの向上に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ホーム長、管理者は市との連携の重要性を十分に理解しており、普段より包括支援センターを含めて、共にケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「瓦版福福亭」で日常の暮らしぶりや健康状態、職員の紹介など家族に情報提供していると共に金銭管理についても毎月報告している。また、状態変化については都度電話連絡など詳細に報告し、対応している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情箱を設置したり、苦情相談窓口を明確にして、気軽に意見や苦情・相談を表せる体制が整っている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「瓦版福福亭」で職員の紹介など家族に情報提供している。また、ホーム長は職員の待遇面など利用者に影響を与えないように配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	協力医療機関の研修会に参加して介護・看護の知識の習得やホーム内での資格取得の講習会、OJTの実施など職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一地域の他の事業所との職員の相互訪問や地域包括支援センターとの交流などサービスの質を向上させる取り組みがおこなわれている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、利用者・家族の不安など解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の過去の生活歴を把握し、本人の気持ちになった支援ができるように職員間で情報の共有が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの生活歴を把握して、趣味や食事の嗜好など本人の意向を尊重している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	1ヶ月に一度開催される業務会議や日常の業務を通じて医師からの情報や本人、家族との話し合い、職員からの意見を取り入れ介護支援専門員が具体的な介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月に一度の見直しを実施しているほか利用者の状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携や気軽に相談できる協力医療機関の認知症専門医の協力体制が整っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師、利用者、家族と相談しながら終末期のありかたについて職員で共有している。また、事業所が対応し得る支援方法を職員間で話し合い支援がされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重して、買い物や食事の準備、掃除の手伝いや庭に出て日光浴を楽しんだり菜園で畑の手入れをするなど、本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みや食べたいものを聞き取ったり嗜好を把握して食事のメニューを作成している。また、職員も利用者と一緒に食事の準備や後片付けをしたり食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的には、月・水・金の週3日だが利用者の希望に応じて対応している。また、利用者のその日の状態や好みによってお湯の温度が選べるように二つの浴槽が用意され温泉気分を味わえるよう景観も配慮されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、パッチワークや畑作業などの趣味への支援や掃除、食事の準備などの楽しみごとの支援もされている。またドライブなど外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーや魚屋さんへの買い物、日本海での散歩、お祭りや子供神輿など町内会行事への参加、戸外でのバーベキュー、公園やキャンプ場などへのドライブなど気分転換や心身のリフレッシュができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、不審者の侵入などを防止するため施錠されているが、利用者が外出時には自ら開錠できるようになっており、利用者・家族に説明して同意も得ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>町内の防災訓練に職員・利用者が一緒に参加して地域の住民との協力体制が整っている。また、火災時の避難場所や避難方法についてシュミレーションも実施されている。</p>		<p>火災などの緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように実技を伴う火災避難訓練を消防署に依頼して実施されることを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量がケース記録に記録され栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、医師のアドバイスも受け一人ひとりの状態変化に応じて支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広く採光が差し込み明るい共用空間は、清潔感が漂い音の大きさや光の強さはカーテンなどで配慮されている。また、居間では趣味などが活かせる工夫や食事の準備などができ生活感が感じられ、窓からは季節の移り変わりが感じられるよう花や植物が眺められる花壇や畑が作られている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具やテレビ、仏壇などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、利用者や家族の写真が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。